11　情報

学校番号	４１７

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新・社会と情報　（日本文教出版）						
副教材等	30 時間でマスター　Ｗｏｒｄ２０１３　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている ICT 機器に対しての理解を深め、より良い使い方とは何かを考えましょう。
・文書デザイン検定への挑戦を通して、コンピュータの操作技術を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータをやインターネット活用して情報の収集を行い、その情報を整理して適切に活用できる。
・ワープロソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作ができる。
・情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、情報社会に積極的に参加する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち，他者を尊重し，情報社会の一員として積極的に参画する態度を身につけている。	・目的をもって情報を収集・分析し，論理的に思考することができるとともに，情報の受発信時には，情報モラル等の観点も含め，適切な判断ができる。	・情報機器や情報通信ネットワークを活用し，状況に応じてメディアとコミュニケーション手段を効果的に使い分けながら，問題解決等に取り組むことができる。	・情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用する知識を身につけるとともに，情報および情報技術の社会的意義や役割について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 発表 定期考査の結果 相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 課題作品 発表 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	コンピュータの仕組みとWord入門	○Wordの基本操作 ○文字入力 ○図の挿入 等	○ ○ ○	○	○ ○ ○	○	a:コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:ディジタル化の利点について理解している。 c:Ｗｏｒｄの基本的な操作がスムーズにできる。 d:ワードプロセッサを利用しての情報の表し方や処理の仕組みを理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
1学期	情報社会に生きる私たち	○情報モラル	○	○	○	○	a:情報漏洩やマルウェアの被害を防ぐ方法を知る。 b:知的財産権とその保護の目的を理解している。 c:著作物の取り扱い方について理解している。 d:個人情報，プライバシーについて理解し、適切に取り扱うことができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
2学期	Wordの応用	○Word操作の応用 ○検定試験の練習	○ ○	○	○ ○	○	a:文書の作成に興味を持ち、Ｗｏｒｄの操作方法を理解している。 b:検定試験に向けて、練習に積極的に取り組もうとしている。 c: 文字の見せ方によって内容や相手に与える印象が変化することを理解している。 d:情報を分かりやすく伝えるための効果的な方法を選択することができる。	授業観察 実習作品 定期考査
3学期	情報技術と社会	○情報通信ネットワーク技術を活用した作品制作 ○プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の活用	○ ○	○	○ ○	○	a:インターネットを利用して、必要な情報を収集することができる。 b:情報の信憑性を判断する方法を理解している。 c:プレゼンテーションの手法を学び、スライド作成の基本操作が身に付いている。 d:情報を整理し、分かりやすく伝えるための効果的な図解表現ができる。	授業観察 ワークシート 課題作品 発表 相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。